

こんにちは

-No.29-



日本共産党 東村山市議会議員

山田たか子です

山田たか子事務所

TEL 395-4973

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6



新型コロナウイルス対策に不安が広がる

政府による3月2日からの一斉休校要請を受け、東村山市も大混乱となりました。学校・学童保育・保護者対応…

その影響により、議会の一般質問は中止となりました。

一斉休校要請に至る検討会の議事録は無く、専門家の意見も聞かず、安倍首相の「政治判断」の下、多くの市民から戸惑いと不安の声が届きました。



「保護者も卒業式に参加したい」「子どもが外で遊んでいたから、学校に苦情の連絡」「公共施設休館で居場所がない」「保護者が休めない」「仕事が無くなった」「育休延長対応してもらえない」「給食中止で、子どもの健康は？食材納品業者・農家・家庭への負担増」

市内でも飲食・観光・文化等様々な分野における経済活動に支障をきたしています。



「新型コロナ改正特別措置法」

3月13日、国会の賛成多数で成立。

その中の「緊急事態宣言」は、行政に権力を集中し、憲法が保障する国民の権利が制約される危険性があります。法律上の歯止めも明確ではなく、慎重に審議すべき内容です。日本共産党は反対をしましたが、数時間の審議で可決。

多くのメディアも、その危険性を取り上げています。



コロナウイルス対策への声を 共産党市議団へお寄せ下さい

政府が出した小・中・高・特別支援学校の一斉休校は当初「基本的に自宅で過ごす事」との通達が出され、行政や学校も対応に苦慮しました。



その後、子ども達の声、保護者の声を届けた日本共産党吉良よし子参議院議員の質問により、「各自治体の柔軟な判断で対応してほしい」「学校給食の

提供も、地域の実情やニーズに応じ、対応判断してほしい」「屋外での運動や散歩を妨げるものではない」との答弁を引き出しました。



市議団では、皆さんの声アンケートを行っています。

お気軽にお声掛けください。

★Web アンケートもあります。

QRコード⇒



活動報告・今後の日程

2月27日 3月議会初日

各会派の代表質問が行われました。

共産党からは、さとう直子議員が質問に立ちました。

3月5日～11日 各委員会

3月13日～18日

予算特別委員会

3月26日 3月議会最終日

※今回の議会は、コロナウイルス対策の為、議場での傍聴ができず、ネット視聴のみでした。

2020年度の予算審議内容

総括

Q.消費増税の影響を伺う。

A.個人消費は $-2.9\% \Rightarrow -2.8\%$ へと改善。キャッシュレス導入店舗は新たな顧客獲得となり、市内事業者の大きな影響は無いと考える。

Q.幼保無償化で国都補助金増額によって生まれた、市の財源活用方法は？

A.保育施設新規開設（2歳児までの小規模保育園を1園）の負担増分等に活用。

歳入

Q.市民の平均所得を伺う。（前年度比）

土木費

Q.公園遊具の修繕予定を伺う。

A.市内378基の内、要修繕または要撤去遊具は270基。危険な遊具は速やかに停止。

教育費

Q.支援を求める子どもに應える為には、教員サポーターの増員が必要ではないか？

A.子どもと信頼関係を築く事が重要であり、担当の入れ替わりが無いよう、各校1人配置としている。

Q.市外へ通う無償化対象外の子もいるが、幼稚園類似施設調査費は、当市は対象とならないのか？（通う施設で無償化対象外となる子が出ないように支援の検討を求めたい）

A.対象とはなっていない。

総務費

Q.特別目的会社設立による電気調達の効率化とは？

A.東村山市も含めた3社で出資する株式会社。収益はまちづくり資金等に充てる。

民生費

Q.憩いの家の利用者減について伺う。

A.高齢化により通えない方が増え、60代の方の利用が少ないため。

Q.生活保護利用者の金銭管理支援を民間委託する理由は？（市民の財産等、重要な個人情報を提供することとなるが）

A.専門的な助言・指導が受けられ、担当ク

国民健康保険

Q.国保税値上げをしなかった場合の税収入の差額を伺う。（国民皆保険であり、社会保障として一般財源からの繰入は必要と考える）

A.1億5,055万円のマイナス。市としては、都が示す標準税率に合わせなければならない。

下水道

Q.一般会計からの繰入金増は、独立採算性が難しい事業という事ではないか？

A.確かに、独立採算は厳しい。

★3月議会では、その他にも副市長の選任等、様々な議案が審議されました。続きは次号でお伝えします。

